

子どもの心理研究会 活動報告

初等教育科 菅原航平

子どもの心理研究会

子どもの心理研究会は、令和2年度より活動を開始した研究会であり、令和2年度、3年度は2名の学生とともに活動を行った。

主な活動内容は、令和2年度から3年度は、COVID-19感染予防のため、附属幼稚園での保育観察や学外での活動が制限され、親子に対する相談業務への陪席、ウインターフェスティバルでのポスター発表、対面やZoomを用いての実習の振り返りや事例の検討などとなった。

子育て相談への陪席は、公認心理師・臨床心理士の資格を持つ教員が幼児・児童教育研究センターで行う、地域の親子を対象とした子育て相談の際に、親子で来談した場合は教員が保護者と話をしている間子どもと遊びながら子どもの性格や特性の理解を深めたり、保護者のみの場合は教員の横で保護者からの話を一緒に聴かせて頂いたりした。その前後で教員と学生的事前打ち合わせや振り返りを行い、子どもや保護者の理解や相談技術について学んだ。

また、令和3年度の短期大学部ウインターフェスティバルでは、「インクルージョン」や「多様性」をキーワードに学生それぞれが学習内容をポスターにまとめて発表を行った。

現在は中断しているが、令和4年度以降COVID-19が収束すれば、附属幼稚園での保育観察や地域の小学校や保育施設に出向いての活動も実施していきたい。

研究会メンバーからの活動報告

水戸文

私が子どもの心理研究会に入った理由は、1年次の菅原先生の心理学の授業に感銘を受けたことでした。コロナ禍ではほぼオンラインで進んだ授業でしたが、その中でも私たち学生の不安に寄り添い、質問や意見にも一つ一つ丁寧に答えてくださる先生に感動したことを覚えています。研究会においても、私たちが授業や実習等で感じた問いを一緒に考えてくださいました。実習の振り返りについては、実習後すぐにZoomで開催してくださり、実習中に感じた疑問点に、海外などの研究報告などを加えてくださるなど、深い学びが得られました。また、子育て相談への陪席はとても貴重な体験で、実際に悩みを抱えている保護者にお会いすることで、社会で子育てをすることの意義を垣間見たようにも思います。勇気をもって相談に来られた保護者、悩みつつも真摯に子どもと向き合う保護者に尊敬と感謝の意を感じることができました。

以上のような経験を通して、考えることも増えましたので、逆にわからないことも増えたように思います。勉強とは孤独な作業です。私の考えは私の意識からしか生まれません。しかし、それは独立して生まれてきたものではなく、先生や仲間と高め合って成しえたものだということを実感した二年間でした。

谷本 愛子

心理研の活動は、主に私たち2名が見解を話

し合い、菅原先生の見解を頂く、という形で進めてきました。水戸さんや自分の中にある理想や現実を言語化して共有したり、違う着眼点や得意不得意なことなどに気づいたりすることができたことで、「みんな違ってみんないい」の入り口に立てた気がします。菅原先生はどんな意見にも耳を傾け、疑問点に答えたり知識を補ったりしてくださり、「先生」が側にいることの心強さを教えてくださいました。そんな先生の姿から、保育者としての在り方について考えることができました。

活動の中で私が特に印象に残っているのは、子育て相談への陪席です。短大で学ぶ前の私は、相談とは「その場で何かしらの答えを提示するもの」だと考えていました。しかし、実際の相談の現場では、①相談者の困りやニーズを丁寧に聞く。②問題を分類し整理して、それぞれについて専門職としての見解を示す。③相談者が見通しをもって待つことができるようにする。ということが行われており、支援者の役割は、相談者が情報を整理したり自己決定をしたりする援助をする、ということを経験することができ、とても貴重な経験になりました。

これからは、研究会での経験を生かし、多様な考え方や個性に触れたり、丁寧に物事を考えたり、人の心に寄り添ったりしながら、働いていきたいと思えます。



(幼児・児童教育研究センター 相談スペース)

別府大学短期大学部
幼児・児童教育研究センター

令和3年度 **子育て相談**

子どもの発達や心理の専門教員による子育て相談室を開設しています。
子育ての悩みやお子様について気になることなど、お気軽にご相談下さい。
(相談は無料です)

こんなお悩みありませんか

言葉がなかなか出なくて、発言も不明瞭な気がする。

?

苦手なことが多くて、こだわりが強い。どう接したらいいの？

コロナでの在宅ワーク以降、登園しづりが激しくなった。

安心して子育てできるように一緒に考えていきましょう！

対象：別府市内に居住、または、別府市内の幼稚園・保育所(園)・認定こども園・小学校に通う子どもの保護者

相談日：水曜日 午後(申し込み時に時間帯については調整させていただきます。)

場所：別府大学短期大学部 幼児・児童教育研究センター(別府大学キャンパス内)

申込方法：別府大学短期大学部初等教育科事務室にご連絡下さい

○申込連絡先：Tel.0977-66-4544(初等教育科事務室) 申込受付は先着順とさせていただきます

※本相談は教育研究目的の事業のため、相談に学生が出席する場合があります。あらかじめご了承のうえ、お申込み下さい。
※新型コロナウイルス感染拡大防止の関係から、日時を変更させていただく場合がありますのでご了承ください

相談担当者
菅原 航平(すがはら こうへい)
別府大学短期大学部 初等教育科 講師
公認心理師・臨床心理士
専門は心理学・大学では発達心理学や教育相談の授業を担当
「気になることがあれば、『こんなこと相談していいのかな』と問わず、ぜひご相談下さい。」

個人情報については「学校法人別府大学個人情報保護に関する規則」等に基づき適正な利用と保護に努めます。

(幼児・児童教育研究センター 子育て相談案内)